学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成

関中だより

令和元年
６月　１１日

第１０号
（文責　花岡）

職場体験が無事終了しました

二年生は、５日間にわたる職場体験を終えました。中学生時代は、「自分はどのような人間なのか、将来どのような生き方をして社会に根づいていくのかを模索する時期」です。この職場体験学習を通して、自分自身を見つめ、何に自分は向いているのか、向いていないのかをつかめたのではないでしょうか。

そして、実際に働いて生活していくためには、これからどんな力をつける必要があるのか、そのために、今何をするべきなのか、家の人と話し合ってみるのもいいと思います。

こんな準備をしてきました

今年も職場体験の前に、第三銀行の方に来ていただき、特に、新規採用者に行っているマナー講座を受けさせていただきました。第一印象が大事だという話から身だしなみ、お辞儀のしかたなど社会人として必要なマナーを学びました。

学校との違いを学びました

学校と会社の違い

	学校	会社
環境・立場	勉強をする 知識を得る 授業料を払う（高校、大学等） 気の合う友人を選べる	仕事をする 今までの知識を活用する 給料を受け取る 好き嫌いでは選べない
接する相手	同年代の人が多い	様々な年齢の人 様々な立場の人
時間	個人的な時間が多い	拘束時間が長い
行動	先生や先輩の指示を守る	上司・先輩の指示を守る
言葉遣い	比較的自由である	敬語を使うことが常識である

昨年度と同じ表をのせました。２年生はこれを見て、どう思いましたか。昨年と感じ方がちがったのではないでしょうか。

学生（生徒）と社会人とでは、どんな違いがあるかわかりましたか。その違いを一言で表すと「責任の重さ」です。自分の行動が、色々な人に影響を与えるのです。もし、あなたがいい加減な態度でお客さんに接したら「感じの悪い店だから、もう、ここにくるのはやめよう」と思ってしまうかもしれません。

５日間の自分の行動は、職場にとってとても大事なのだということをあらためて感じたのではないでしょうか。

亀山市消防本部で実際の訓練を体験します

プランタンさかきやさんで花の水やりです

一年生の校外学習

一年生は、６月６日に関小の通学バスを利用して、新しくなった県立博物館へ行きました。

常設展示、特別展示と学習し、昼前に学校に帰ってきました。

人数的に移動可能な学年なので、離れた場所での学習が身近になりました。

生きたオオサンショウウオを観察しています

やるじゃないか！関中生！

６月５日の午後に松阪の方から学校へお電話をいただきました。

話の中身は次のようなものでした。関ドライブインへ夫婦で立ち寄られたのですが、奥さんが女子トイレのドアのフックにバッグを忘れたそうです。バッグの中には、携帯や大切なものが入っていたので、大変困って、サービスカウンターに行ったところ、そのバッグは届いていて無事に手元に戻りました。そのバッグを届けたのが、関ドライブインで職場体験実習中の関中の生徒でした。

その方は、大変感謝してお礼を言いたかったのですが、その場では学校も名前もわからず、その後、職場体験中の中学生だということを知り、関中のジャージを手掛かりに、学校に感謝の電話をいただいたというわけです。

そのときに、その方は、「中学生がこのような対応をしてくれたのは、日ごろの学校教育の成果だと思います」ということをお話してくれました。大変うれしいお電話をいただきました。

なくなってしまったと思っていたバッグがちゃんと届いていた、人の温かさにふれ、お電話いただいたのだと思います。

「やるじゃないか！関中生！」